【2022年度】

エコアクション２１

環境経営レポート

試行期間：2022年10月～2022年12月

有限会社永広産業

発行日：2023年2月1日

NAGAHIRO SANGYO

■目次

１．組織の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. ３

２．認証・登録の対象範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. ３

３．環境経営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. ４

４．実施体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. ５

５．環境経営目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. ６

６．環境経営計画（2022年度）試行期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・ P. ７

７．環境経営目標の実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. ８

８．環境経営計画の取組結果と
その評価、次年度の取組内容・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. ９

９．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価
の結果並びに違反、訴訟等の有無 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. １０

１０．代表者による全体評価と見直しの結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. １１

■1.　組織の概要

（1）　事業所名　有限会社　永広産業

代表者氏名　代表取締役　永広　公彦

（2）　所在地

・本　社

・資材置場　〒861-0131　熊本県熊本市北区植木町広住1061番地

・資材倉庫

（3）　環境管理責任者　永広　和也

連絡担当者　乙　知佳

連絡先　ＴＥＬ　096-272-5899　ＦＡＸ　096-272-5872

Ｅメールアドレス　c.oto@nagahirosangyo.com

（4）　事業内容

土木工事業、とび・土工工事業、一般貨物自動車運送業

（5）　事業の規模

資本金：　40百万円

売上額：　221百万円　（令和2年10月１日～令和3年9月30日）

事業年度：　10月～9月

従業員数：　11名

延床面積：　200.76　㎡

（6）　特定建設業許可　熊本県知事許可（特－２）第9334号

許可の種類：　土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

産業廃棄物収集運搬許可　熊本県知事許可　第04301148331号

許可の種類：　紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、廃プラスチック類

（7）　会社の沿革

昭和57年4月　永広産業創業

平成元年２月　「有限会社　永広産業」設立

（8）　会社が保有している主な設備

【車両】

・10ｔダンプ車：6台
・20ｔトレーラ：1台
・４ｔ散水車：１台
・３ｔユニック車：1台
・高所作業車：1台
・軽トラック車：2台
・軽ワゴン車：3台
・３ｔダンプ車：4台

【重機】

・バックホウ：１５台
・ローラー：1台

■2.　認証・登録の対象範囲

上記の全組織、全事業活動

（1）対象事業所　本社

（2）事業活動　上記の事業内容

■３．環境経営方針

有限会社　永広産業は、建設現場及び本社内の事業活動から生ずる環境への影響を考慮し、環境との共生・調和を基本理念に、持続可能な事業への取組みを推進し、事業活動を通して更なる省エネルギーや資源の有効活用、廃棄物の発生抑制等に取組み、地域の環境保全に貢献する。

１　当社事業活動により起因する環境負荷を低減するため、環境経営計画に基づいた事業活動を継続的に実施・改善するとともに、

創意工夫によりエコアクション２１を推進する。

２　当社事業活動に係る環境影響のうち、下記事項を重視して環境負荷の低減を図る。

（１）　電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネによる二酸化炭素排出量の削減

（２）　産業廃棄物排出量の削減

（３）　節水に努め、水使用量の削減

（４）　建設副産物の抑制に努め、分別を積極的に行い、リサイクルの推進

（５）　エコ設備等の推進、エコに関する情報の収集・共有及び発信

（6）　リサイクル品使用や騒音・振動防止、施工方法の見直しによる環境に配慮した工事施工

３　当社事業に関する環境関連法規等を遵守するとともに、社内及び関連会社に情報提供し周知を図る。

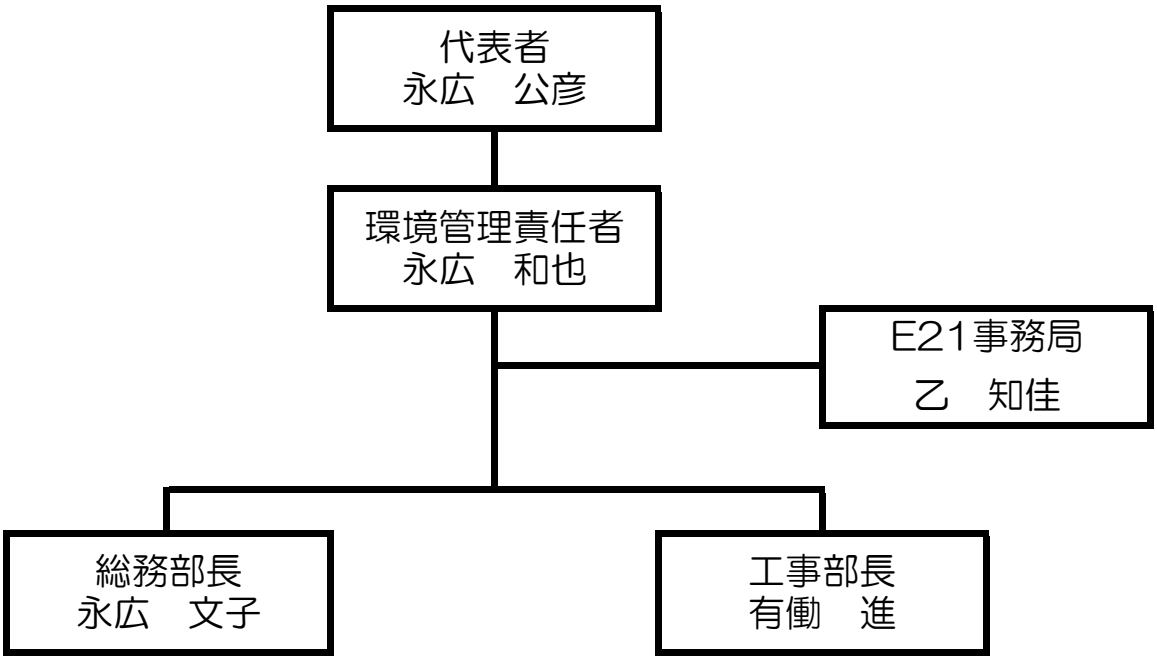
４　地域貢献活動を推進する。

制定日　2022年10月1日

有限会社　永広産業

代表取締役　永広　公彦

■４．実施体制



役割分担表

所　属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、ＥＡ２１事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する ・ＥＡ２１全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・ＥＡ２１ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、　実行し、環境実績を向上させる。 ・毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する。 ・３か月に１回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
ＥＡ２１委員会	・３か月に１回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する。
ＥＡ２１事務局	・環境管理責任者を補佐し、ＥＡ２１文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

■5. 環境経営目標

活動期間（試行期間）：2022年10月～2022年12月）

	単位	基準年 2020年度		目標				
				２０２２年度（1%削減）		2023年度（2%削減）	2024年度（3%削減）	2025年度（4%削減）
		年間	試行期間	年間	試行期間			
		2020年10月～2021年9月	2020年10月～2020年12月	2022年10月～2023年9月	2022年10月～2022年12月	2021年4月～2022年3月	2022年4月～2023年3月	2023年4月～2024年3月
1．二酸化炭素排出量	kg - CO_2	160,422.47	54,502.33	158,818.25	53,957.31	157,214.02	155,609.80	154,005.57
（1）電気使用量	kWh							
本社	kWh	3,415.00	786.00	3,380.85	778.14	3,346.70	3,312.55	3,278.40
現場	kWh	11,116.00	0.00	11,004.84	0.00	0.00	0.00	0.00
（2）ガソリン使用量	ℓ							
本社	ℓ	970.07	98.76	960.37	97.77	950.67	940.97	931.27
現場	ℓ	1,975.91	494.84	1,956.15	489.89	1,936.39	1,916.63	1,896.87
（3）軽油	ℓ							
本社	ℓ	710.30	182.50	703.20	180.68	696.09	688.99	681.89
現場	ℓ	56,000.00	20,000.00	55,440.00	19,800.00	54,880.00	54,320.00	53,760.00
（4）灯油 現場	ℓ	640.00	300.00	633.60	297.00	627.20	620.80	614.40
2．廃棄物排出量	t							
一般廃棄物排出量	kg	実績量未把握	実績量未把握	数量把握	250.00			
産業廃棄物排出量	t	3,250.00	0.00	3,217.50	0.00	3,185.00	3,152.50	3,120.00
3．水使用量	m^3	実績量未把握	実績量未把握	36	10	35.28	34.92	34.56
4．化学物質使用量		実績量未把握	実績量未把握	数量把握	-			
5．環境に配慮した工事施工								
工期短縮	日	実績量未把握	-	数量把握	-	20	20	20
手直し工事	件	0	0	0	0	0	0	0
6．地域貢献活動		1件	1件	1件	1件	2件	2件	2件

備考

1．購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.463kg-CO2／kWh（九州電力　2017年度・調整後）を使用した。

2．ここでは省エネルギー型製品を使用する。

3．2022年1月までは水使用量は井戸水使用のため今回から把握する。

5．元受けでの入札による公共工事を対象とする。
作業終了日翌日から工期末日までを短縮日数とする。手直し工事は施工不良が原因のもののみとする。

■6.　環境経営計画（2022年度）試行期間

1.二酸化炭素排出量の削減

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	スケジュール
1	電気使用量削減	1	昼休み、退出時等、不要な箇所の消灯を行う	総務部門（永広） 工事部門（有働）	通年
		2	エアコンの設定温度（暖房21℃、冷房27℃）		夏冬期
		3	長期間使用しないものはコンセントを抜く		通年
2	ガソリン使用量削減	1	急発進、急加速、急停止、不要なアイドリングの禁止	工事現場 （現場代理人）	通年
		2	タイヤ圧の点検、車両整備点検の実施		通年
		3	エアコン使用を極力控える		通年
3	軽油使用量削減	1	急発進、急加速、急停止、不要なアイドリングの禁止	工事現場 （現場代理人）	通年
		2	タイヤ圧の点検、車両整備点検の実施		通年
		3	エアコン使用を極力控える		通年
		4	過積載の防止		通年
4	灯油使用量の削減	1	不要な使用をしない	総務部門（永広） 工事部門（有働）	通年

2.廃棄物排出量削減

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	スケジュール
1	一般廃棄物排出量の削減	1	不要コピー用紙の裏紙使用	総務部門（永広）	通年
		2	分別の徹底		通年
2	産業廃棄物排出量の削減	1	分別の徹底	工事現場 （現場代理人）	通年
		2	適切なリサイクル業者の選定		通年

3.水使用量削減

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	スケジュール
1	水使用量の削減	1	節水習慣の徹底	総務部門（永広）	通年

4.化学物質使用量の削減

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	スケジュール
1	化学物質使用量の削減	1	化学物質使用量の把握	工事現場 （現場代理人）	通年
		2	化学物質使用量の削減検討		通年

5.環境に配慮した工事施工

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	スケジュール
1	環境に配慮した工事施工	1	リサイクル品使用の利用推進	工事現場 （現場代理人）	通年
		2	工事による廃材・汚泥の適正処理		通年
		3	騒音・振動防止の推進		通年
		4	環境に配慮した施工方法の採用		通年
		5	低騒音・低振動・低排出ガス型機械の使用		通年
		6	ICT施工の活用		通年
		7	より近いところからの資材調達		通年

6.地域貢献活動の推進

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	スケジュール
1	地域貢献活動の推進	1	地域清掃の実施	総務部門（永広）	通年

◎：よくできた　○：できた　△：十分でなかった

■7. 環境経営目標の実績

活動期間（試行期間）：2022年10月～2022年12月）

	単位	基準年		目標		実績		評価	
		2020年度		２０２２年度（1%削減）		２０２２年度（1%削減）		2022年度	
		年間	試行期間	年間	試行期間	年間	試行期間	試行期間	
		2020年10月～2021年9月	2020年10月～2020年12月	2022年10月～2023年9月	2022年10月～2022年12月	2022年10月～2023年9月	2022年10月～2022年12月	達成率（%）	評価
1．二酸化炭素排出量	kg - CO_2	160,422.47	54,502.33	158,818.25	53,957.31		40,568.5	133.0	○
（1）電気使用量	kWh								
本社	kWh	3,415.00	786.00	3,380.85	778.14		2,340	33.3	×
現場	kWh	11,116.00	0.00	11,004.84	0.00		546	-	-
（2）ガソリン使用量	ℓ								
本社	ℓ	970.07	98.76	960.37	97.77		336.15	29.1	×
現場	ℓ	1,975.91	494.84	1,956.15	489.89		877.5	55.8	×
（3）軽油	ℓ								
本社	ℓ	710.30	182.50	703.20	180.68		195.50	92.4	△
現場	ℓ	56,000	20,000	55,440	19,800		14,000	141.4	○
（4）灯油 現場	ℓ	640	300	634	297		0	-	○
2．廃棄物排出量	t								
一般廃棄物排出量	kg	実績量未把握	実績量未把握	数量把握	250		243	102.9	○
産業廃棄物排出量	t	3,250	0	3,218	0		39,859	-	-
3．水使用量	m^3	実績量未把握	実績量未把握	-	-		6.0	-	-
4．化学物質使用量		実績量未把握	実績量未把握	数量把握	数量把握		0	-	-
5．環境に配慮した工事施工									
工期短縮	日	実績量未把握	-	数量把握	-		-	-	-
手直し工事	件	0	0	0	0		0	100	○
6．地域貢献活動	件	1件	1件	1件	1件		1件	100.0	○

備考　評価は達成率100%以上＝○、達成率70%以上100%未満=△、達成率70%未満=×（是正処置対象）とする。

■8.　環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画

1.二酸化炭素排出量の削減

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	取組結果	評価内容	評価
1	電気使用量削減	1	昼休み、退出時等、不要な箇所の消灯を行う	総務部門（永広） 工事部門（有働）	達成・未達	全社員への呼びかけ、節電の張り紙により達成できている。	◎
		2	エアコンの設定温度（暖房21℃、冷房27℃）		達成・未達	全社員への呼びかけ、エアコンスイッチ横の張り紙により達成できている。	◎
		3	長期間使用しないものはコンセントを抜く		達成・未達	改善はされたが、実行しきれていないものもある。 継続し、改善に努めたい。	○
2	ガソリン使用量削減	1	急発進、急加速、急停止、不要なアイドリングの禁止	工事現場 （現場代理人）	達成・未達	全社員への呼びかけにより達成できている。今後も継続していく。	◎
		2	タイヤ圧の点検、車両整備点検の実施		達成・未達	実施できている。	○
		3	エアコン使用を極力控える		達成・未達	個人の感覚的な判断になるので評価しにくいが継続していく。	△
3	軽油使用量削減	1	急発進、急加速、急停止、不要なアイドリングの禁止	工事現場 （現場代理人）	達成・未達	10ｔダンプに関してはタコグラフでの指導を実施している。	○
		2	タイヤ圧の点検、車両整備点検の実施		達成・未達	実施できている。	○
		3	エアコン使用を極力控える		達成・未達	個人の感覚的な判断になるので評価しにくいが継続していく。	△
		4	過積載の防止		達成・未達	最大積載量の確認、車両の自重計の確認、適正積載シールの貼付けを実施している。	○
4	灯油使用量の削減	1	不要な使用をしない	総務部門（永広） 工事部門（有働）	達成・未達	必要な場合しか使用していない。	◎

2.廃棄物排出量削減

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	取組結果	評価内容	評価
1	一般廃棄物排出量の削減	1	不要コピー用紙の裏紙使用	総務部門（永広）	達成・未達	呼びかけ、張り紙により徐々に改善してきている。	○
		2	分別の徹底		達成・未達	ほぼ実施できているが、今後さらに徹底したい。	○
2	産業廃棄物排出量の削減	1	分別の徹底	工事現場 （現場代理人）	達成・未達	実施できている。	◎
		2	適切なリサイクル業者の選定		達成・未達	マニフェスト伝票を交付・保管している。実施できている。	◎

3.水使用量削減

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	取組結果	評価内容	評価
1	水使用量の削減	1	節水習慣の徹底	総務部門（永広）	達成・未達	呼びかけ、張り紙により徐々に改善してきている。	○

4.化学物質使用量の削減

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	取組結果	評価内容	評価
1	化学物質使用量の削減	1	化学物質使用量の把握	工事現場 （現場代理人）	達成・未達	使用材料、使用量を把握中	―
		2	化学物質使用量の削減検討		達成・未達	使用材料、使用量を把握中	―

5.環境に配慮した工事施工

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	取組結果	評価内容	評価
1	環境に配慮した工事施工	1	リサイクル品使用の利用推進	工事現場 （現場代理人）	達成・未達	再生クラッシャーランなどを使用している。	○
		2	工事による廃材・汚泥の適正処理		達成・未達	マニフェスト伝票を作成・保管している。実施できている。	○
		3	騒音・振動防止の推進		達成・未達	作業時間帯を厳守。建設機械の操作でストロークエンドまで操作しないなどを注意している。	○
		4	環境に配慮した施工方法の採用		達成・未達	効率の良い機械を選択し、工期短縮、燃費効率の向上を図っている。	○
		5	低騒音・低振動・低排出ガス型機械の使用		達成・未達	すべての機械で達成できている。	◎
		6	ICT施工の活用		達成・未達	工事内容によりできる限り実施している。	◎
		7	より近いところからの資材調達		達成・未達	生コンは実施できている。	○

6.地域貢献活動の推進

活動項目		具体的な取組内容		部門（責任者）	取組結果	評価内容	評価
1	地域貢献活動の推進	1	地域清掃の実施	総務部門（永広）	達成・未達	工事現場付近などで実施している。	○

〈評価〉◎：よくできた　○：できた　△：十分でなかった

■次年度の取組計画（2023年度）

本システムは2022年10月から運用開始したところであり、2023年度も2022年度の取組みを継続して取り組む。

■9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	建設廃棄物の再資源化の促進
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守
大気汚染防止法	事故時の措置と届出 排出基準の遵守
水質汚濁防止法	特定施設の届出 排出基準の遵守
フロン排出抑制法	空調機の簡易定期点検

■環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果

遵守されていることを確認しました。

■環境法規制等への違反、訴訟等の有無

違反、訴訟等はありません。

■10．代表者による全体評価と見直しの結果

1　当社事業活動により起因する環境負荷を低減するため、環境経営計画に基づいた事業活動を継続的に実施するとともに、創意工夫によりエコアクション２１を推進し、試行期間を実施した。

2　環境経営方針についての評価

掲げた内容を継続し、環境へ配慮しながら引き続き活動していきたい。

3　重視した環境負荷の低減の評価
試行期間における環境経営目標（本レポートP.4）を掲げ、環境経営計画（本レポートP.5）に基づき、取組みを実施した結果下記の評価であった。

・環境活動目標に対する評価

	項目	目標達成状況	評価内容
環境活動目標	＜二酸化炭素排出量の削減＞		
	・電気使用量の削減	本社:未達成　現場:実績なし	努力はしたが、社屋の建替えなどで電気使用量が大きく変化し、達成できなかった。目標値の見直しが必要。
	・ガソリン使用量の削減	本社:未達成　現場:未達成	工事の受注件数の増加、現場までの距離が影響し未達成となった。
	・軽油使用量の削減	本社:未達成　現場:目標達成	工事の受注状況の影響が大きいが、取組を継続したい。
	・灯油使用量の削減	目標達成	灯油の使用はなかった。
	＜廃棄物排出量の削減＞		
	・一般廃棄物排出量の削減	目標達成	取組を継続していく。
	・産業廃棄物排出量の削減	実積なし	工事受注状況によるため実績なしとなったが、今後も継続していく。
	水使用量の削減	目標達成	取組を継続していく。
	化学物質使用量の削減	未使用	工事の内容によるため、引き続き把握していく。
	環境に配慮した工事施工	目標達成	常に品質には気を使っている。取組を継続していく。
	地域貢献活動の推進	目標達成	今回は目標は達成となったが、清掃以外にも活動を広げていきたい。

・環境経営計画への取組み結果と評価

環境経営計画	二酸化炭素排出量の削減	電気・軽油・灯油：達成	取組を継続していく。
		ガソリン：一部未達	取組を継続していく。
	廃棄物排出量の削減	達成	取組を継続していく。
	水使用量の削減	達成	取組を継続していく。
	化学物質使用量の削減	未使用	工事の内容によるため、引き続き把握していく。
	環境に配慮した工事施工	達成	公共工事が中心のため制限が大きいが、できるところは取組んでいく。
	地域貢献活動の実施	達成	今回は目標は達成となったが、清掃以外にも活動を広げていきたい。

4　実施体制

特に問題は見られなかったが、常に見直し、改善できるところがあれば取り組んでいきたい。

5　総評
令和4年10月１日～令和４年12月31日の間、EA21環境活動の試行期間として環境経営計画に基づき環境活動目標達成に向けて努力してきた結果、EA21環境活動への取組みに対して社員も理解できたと思う。
次年度からは、環境経営計画に基づき、環境活動目標が達成できるように社員の参画意識の高揚と継続的な教育、周知徹底を図り、EA21環境活動を推進して行く。

令和5年2月1日

代表取締役　永広 公彦